

特定電気通信施設等整備推進基金補助金の運営・管理等に対する評価

【各項目の評点】

※ 該当する評点に○を付してください。

評価項目	評点
1. 交付決定を行った個別事業の進捗状況について	
1-1 交付決定を行った各事業の進捗は申請のとおり進んでいるか。	Ⓐ B C D
1-2 交付決定を行った個別事業の進捗管理は適切に行われているか。	Ⓐ B C D
1-3 計画変更等があった場合の対応は適切に実施されているか。	Ⓐ B C D
2. 基金残高の管理の適正性	
2-1 基金は他の経理と明確に区分し、適切に管理されているか。	Ⓐ B C D
2-2 基金の残高について適時・適切に報告・公表されているか。	Ⓐ B C D
2-3 基金からの助成金拠出の承認体制は適切に構築されているか。	Ⓐ B C D
2-4 基金の不正利用等を防止する体制構築等が講じられているか。	Ⓐ B C D
2-5 助成金の拠出は適時・適切に行われているか。	Ⓐ B C D
3. 基金の管理体制・基金事業全体としての進捗状況	
3-1 基金設置法人の人員・組織は適切に構築されているか。	Ⓐ B C D
3-2 交付決定時の計画のとおり基金事業は進んでいるか。	Ⓐ B C D
3-3 基金事業全体の進捗管理は適切に行われているか。	Ⓐ B C D
3-4 基金設置法人の管理費は適切に算定・拠出されているか。	Ⓐ B C D
3-5 不用額については適時・適切に国庫に返納しているか。	Ⓐ B C D

【総合評価の評点】

※ 総合評価の欄に評点(アルファベット)をご記入ください。

＜判定基準＞	総合評価
A. 基金設置法人における基金の運営・管理等は優れており、改善すべき点はなく、今後も事業を継続すべきである。 B. 基金設置法人における基金の運営・管理等は良好であり、軽微な見直しを行った上で、今後も事業を継続すべきである。 C. 事業は継続して良いが、基金の運営・管理体制等を大幅に見直す必要がある。 D. 事業を中止することが望ましい。	A

- 項目評価・総合評価の実施に当たり、重要視された点やご意見等をご記入ください。

【評価コメント】。

● 基金補助金の運営管理は計画通り順調に進んでいる。 ● 基金補助金は高額であり、今後も事業を計画通り慎重に継続すべきである。
--

本基金補助金の運営・管理等に対する評価

【各項目の評点】

※ 該当する評点に○を付してください。

評価項目	評点
1. 交付決定を行った個別事業の進捗状況について	
1-1 交付決定を行った各事業の進捗は申請のとおり進んでいるか。	Ⓐ B C D
1-2 交付決定を行った個別事業の進捗管理は適切に行われているか。	Ⓐ B C D
1-3 計画変更等があった場合の対応は適切に実施されているか。	Ⓐ B C D
2. 基金残高の管理の適正性	
2-1 基金は他の経理と明確に区分し、適切に管理されているか。	Ⓐ B C D
2-2 基金の残高について適時・適切に報告・公表されているか。	Ⓐ B C D
2-3 基金からの助成金拠出の承認体制は適切に構築されているか。	Ⓐ B C D
2-4 基金の不正利用等を防止する体制構築等が講じられているか。	Ⓐ B C D
2-5 助成金の拠出は適時・適切に行われているか。	Ⓐ B C D
3. 基金の管理体制・基金事業全体としての進捗状況	
3-1 基金設置法人の人員・組織は適切に構築されているか。	Ⓐ B C D
3-2 交付決定時の計画のとおり基金事業は進んでいるか。	Ⓐ B C D
3-3 基金事業全体の進捗管理は適切に行われているか。	Ⓐ B C D
3-4 基金設置法人の管理費は適切に算定・拠出されているか。	Ⓐ B C D
3-5 不用額については適時・適切に国庫に返納しているか。	Ⓐ B C D

【総合評価の評点】

※ 総合評価の欄に評点(アルファベット)をご記入ください。

＜判定基準＞	総合評価
A. 基金設置法人における基金の運営・管理等は優れており、改善すべき点はなく、今後も事業を継続すべきである。 B. 基金設置法人における基金の運営・管理等は良好であり、軽微な見直しを行った上で、今後も事業を継続すべきである。 C. 事業は継続して良いが、基金の運営・管理体制等を大幅に見直す必要がある。 D. 事業を中止することが望ましい。	A.

- 項目評価・総合評価の実施に当たり、重要視された点やご意見等をご記入ください。

【評価コメント】。

本基金補助金の運営・管理等に対する評価

【各項目の評点】

※ 該当する評点に○を付してください。

評価項目	評点
1. 交付決定を行った個別事業の進捗状況について	
1-1 交付決定を行った各事業の進捗は申請のとおり進んでいるか。	☒ A B C D
1-2 交付決定を行った個別事業の進捗管理は適切に行われているか。	☒ A B C D
1-3 計画変更等があった場合の対応は適切に実施されているか。	A B C D
2. 基金残高の管理の適正性	
2-1 基金は他の経理と明確に区分し、適切に管理されているか。	☒ A B C D
2-2 基金の残高について適時・適切に報告・公表されているか。	☒ A B C D
2-3 基金からの助成金拠出の承認体制は適切に構築されているか。	☒ A B C D
2-4 基金の不正利用等を防止する体制構築等が講じられているか。	A ☒ B C D
2-5 助成金の拠出は適時・適切に行われているか。	☒ A B C D
3. 基金の管理体制・基金事業全体としての進捗状況	
3-1 基金設置法人の人員・組織は適切に構築されているか。	☒ A B C D
3-2 交付決定時の計画のとおり基金事業は進んでいるか。	A ☒ B C D
3-3 基金事業全体の進捗管理は適切に行われているか。	A ☒ B C D
3-4 基金設置法人の管理費は適切に算定・拠出されているか。	A ☒ B C D
3-5 不用額については適時・適切に国庫に返納しているか。	A ☒ B C D

【総合評価の評点】

※ 総合評価の欄に評点(アルファベット)をご記入ください。

＜判定基準＞	総合評価
A. 基金設置法人における基金の運営・管理等は優れており、改善すべき点はなく、今後も事業を継続すべきである。 B. 基金設置法人における基金の運営・管理等は良好であり、軽微な見直しを行った上で、今後も事業を継続すべきである。 C. 事業は継続して良いが、基金の運営・管理体制等を大幅に見直す必要がある。 D. 事業を中止することが望ましい。	B

- 項目評価・総合評価の実施に当たり、重要視された点やご意見等をご記入ください。

【評価コメント】。

海底ケーブル事業 が 課題 である。